

環境問題について

石川地区の一部地域では悪臭が長年の悩みになっている。うるま市として政策的な解決ができないか。

旧石川市では、畜産農家も悪臭軽減に努力してきましたが、当時の畜産情勢等を考慮し、悪臭軽減対策費を予算化し対応していました。

その間、様々な御提言等により効果の高い次の事業を試験的に実施してまいりました。

即効性のある液剤（木酢液）を使用し、週2日から週5日の散布、平成14年度から合併するまでの3年間は、国庫補助金と抱き合わせて365日毎日散布を実施してきました。

合併後は、旧石川の方法でうるま市全域を対象とするには、多額の経費が必要となり、関連する国庫補助事業も無く、市独自の予算確保も困難な状態です。

現在は、畜産農家に対し、
①悪臭緩和剤等購入費に対する補助をしております。

②うるま市畜産環境保全指導協議会の機関を活用し指導していきます。
（畜舎・家畜排泄物施設の巡回指導、苦情調査、緩和剤等の活用指導）

公害は、「原因者負担の原則」で解決すべきものと認識しておりますが、畜産事業活動の上で、悪臭を完全にシャットアウトすることは難しいことです。市としては、畜産振興を

図りつつ、地域に調和できるように指導していく所存であります。問題解決には農家の皆さんの意識も重要だと考えます。

道路整備について

県道37号線（屋慶名地内）拡幅工事について

これまで県道37号線・屋慶名大通りの全体的整備について関係機関へ要請し続けておりますが、早期の事業化は厳しい状況にあります。今回、要望のある特に危険な箇所の先行した整備につきましても、関係機関へ粘り強く整備要請を行ってまいります。『現在整備中の青増地区の整備状況も

合併後進められている道路・排水路整備の様子



整備前



整備後

踏まえつつ屋慶名大通りの整備計画について検討したい』との県の見解も示されており、青増地区のスムーズな事業執行が当該要望地区の早期事業化への強力な後押しになると考えております。つきましては、要望地区と併せて現在整備中の事業推進についても関係者のご協力を賜りたいと存じます。

教育関係

南原小学校改築事業における冷房設備について

旧勝連町時代 年次的校舎整備計画がなされていたと思えます。その後の流れとしてどのような

るのか具体的な説明をお願いいたします。

学校の冷房設備は、これまで、ほとんどの学校校舎が、防衛施設庁の補助事業で整備されてきております。また、空調設備の電気料金の助成も受けております。

しかし、冷房設備が整備されていない学校はまだ数校あります。整備に当たっては、文部科学省の新増改築事業と並行して防衛庁の補助事業を活用した冷房設備の整備をして行きたいと考えております。

新市建設計画の中で南原小学校の改築計画はありますが、現在、学校適正化に向け調査検討中であり、その内容を踏まえたうえで、耐力度調査などを行い優先度の高い学校から、整備が行われるものだと考えております。

質問の件数については下記の通りです。
※質問の多い順に記載

・道路整備について	21件
・教育・文化関係	19件
・環境関係	17件
・商工・農林・水産関係	16件
・防災関係	12件
・公園整備関係	11件
・財政関係	9件
・上・下水道関係	6件
・観光関係	5件
・その他	50件
・合計	166件